



## 2025年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日

上場会社名 Post Prime 株式会社 上場取引所 東  
コード番号 198A URL <https://corp.postprime.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 ダニエル 圭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートグループ リーダー (氏名) 羽鳥 有紀彦 TEL 03(6758)7255  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年5月期第1四半期の業績 (2024年6月1日～2024年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第1四半期	211	-	69	-	55	-	36	-
2024年5月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第1四半期	3.63	3.48
2024年5月期第1四半期	-	-

- (注) 1. 2024年5月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年5月期第1四半期の数値及び2025年5月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。  
2. 当社株式は2024年6月20日付で東京証券取引所グロース市場に上場しております。2025年5月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第1四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第1四半期	1,204	946	78.3
2024年5月期	1,279	868	67.6

(参考) 自己資本 2025年5月期第1四半期 943百万円 2024年5月期 865百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年5月期	-	-	-	-	-
2025年5月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年5月期の業績予想 (2024年6月1日～2025年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,136	20.2	307	△12.5	331	△13.5	217	△17.5	21.51

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年6月19日付で払込完了した公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行100,000株を含めた期中平均発行済株式数

により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年5月期1Q	10,100,000株	2024年5月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2025年5月期1Q	一株	2024年5月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年5月期1Q	10,080,434株	2024年5月期1Q	一株

(注) 2024年5月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(会計方針の変更に関する注記) .....	5
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第 1 四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の鎮静化による社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向である一方で、ロシア・ウクライナ危機の長期化や、エネルギーや食料品を中心とした物価の上昇、世界的な金融資本市場の変動等の影響によって、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社では、中長期的な企業価値の向上と持続的成長の実現に向け、当社が主力事業として運営するSNS「PostPrime」において、より多くのユーザーに利用してもらえるようにするため、ユーザーにとって魅力的かつ有益な新機能や新サービスの開発に継続的に取り組んでおります。

当第 1 四半期累計期間においては、プライムPlus、IZANAVIをリリースいたしました。プライムPlusでは、各クリエイターが複数のプライム登録価格を設定し、それぞれのプライム登録者に対し異なるコンテンツを提供することを可能とします。また、IZANAVIでは、AIが機械学習した過去のマーケットデータに基づくチャートパターン等の情報をユーザーに提供する機能です。これらにより、「PostPrime」の有用性・利便性を一層高め、当社のサービスをより幅広く活用いただくことを目指してまいります。その他、新事業領域として、人材紹介や取引プラットフォーム構築に向けた調査を推進しております。

以上の結果、当第 1 四半期累計期間における売上高は、211,560千円、営業利益は69,739千円、経常利益は55,922千円、四半期純利益は36,579千円となりました。

なお、当社は金融・経済情報プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第 1 四半期会計期間末における流動資産は1,154,387千円となり、前事業年度末に比べ73,711千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が113,668千円減少したことによるものであります。固定資産は50,491千円となり、前事業年度末に比べ944千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が596千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,204,879千円となり、前事業年度末に比べ74,656千円減少いたしました。

#### (負債)

当第 1 四半期会計期間末における流動負債は258,491千円となり、前事業年度末に比べ152,635千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が76,748千円、未払金が28,763千円、契約負債が17,515千円、未払消費税等が16,984千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、258,491千円となり、前事業年度末に比べ152,635千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第 1 四半期会計期間末における純資産合計は946,387千円となり、前事業年度末に比べ77,979千円増加いたしました。これは、新規上場に伴う公募増資による資本金の増加20,700千円、資本準備金の増加20,700千円、四半期純利益36,579千円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は78.3%（前事業年度末は67.6%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年 5 月期の業績予想につきましては、2024年 7 月12日付の「2024年 5 月期 決算短信」から変更はありません。本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	889,757	776,089
預け金	79,332	125,625
売掛金	25,276	32,402
有価証券	215,946	201,917
仕掛品	2,318	2,862
未収入金	792	792
前払費用	10,794	13,707
前渡金	2,179	-
未収収益	999	461
その他	702	528
流動資産合計	1,228,099	1,154,387
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	8,070	8,070
減価償却累計額	△3,344	△3,940
有形固定資産合計	4,726	4,130
投資その他の資産		
差入保証金	1,900	1,900
長期前払費用	717	369
繰延税金資産	44,091	44,091
投資その他の資産合計	46,709	46,361
固定資産合計	51,436	50,491
資産合計	1,279,535	1,204,879
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,325	17,183
未払金	75,227	46,463
未払費用	550	550
契約負債	173,333	155,818
預り金	3,286	3,530
未払法人税等	96,091	19,343
未払消費税等	30,381	13,397
コイン引当金	15,931	2,204
流動負債合計	411,126	258,491
負債合計	411,126	258,491
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	21,700
資本剰余金	-	20,700
利益剰余金	864,238	900,817
株主資本合計	865,238	943,217
新株予約権	3,170	3,170
純資産合計	868,408	946,387
負債純資産合計	1,279,535	1,204,879

(2) 四半期損益計算書  
(第 1 四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第 1 四半期累計期間 (自 2024年 6 月 1 日 至 2024年 8 月 31 日)
売上高	211,560
売上原価	24,727
売上総利益	186,832
販売費及び一般管理費	117,092
営業利益	69,739
営業外収益	
受取利息	34
有価証券利息	2,495
雑収入	257
営業外収益合計	2,788
営業外費用	
為替差損	16,605
営業外費用合計	16,605
経常利益	55,922
税引前四半期純利益	55,922
法人税等	19,343
四半期純利益	36,579

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

## (会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及び評価・換算差額等に区分して計上することとし、評価・換算差額等に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することといたしました。

なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又は評価・換算差額等に関連しており、かつ、株主資本又は評価・換算差額等に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上することとしております。

当該会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

## (会計上の見積りの変更に関する注記)

当社が運営するSNS「PostPrime」において、登録ユーザーに付与したコインの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をコイン引当金として計上することとしております。

前事業年度までは、コインを付与するというサービスが開始されてからの期間が短かったこともあり、コイン失効の実績データが不足していたため、コイン残高の全額を計上しておりましたが、当第1四半期会計期間からは、コイン失効の実績データが十分に把握可能となったため、コイン残高の全額からコイン失効の見込額を控除した金額を計上する方法に変更いたしました。

これにより、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれが9,050千円増加しております。

## (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)

当社は、金融・経済情報プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月20日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年6月19日を払込期日とする一般募集による新株式の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ20,700千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が21,700千円、資本剰余金が20,700千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	596千円
のれんの償却額	-